

## 子供は繰り返しが好き

このように、音声を聴き取る能力は、生まれ落ちた時からありますが、その能力は、同じものを繰り返し繰り返し聴くことによって発達するのです。決して、生まれつきのものではありません。

だから、音楽でも言葉でも、同じものを繰り返し聴かせることが大切です。大人には退屈で耐えがたいこの繰り返しが、幼児にとっては好きでたまらないのです。幼児の成長発達を望む造化の神の配慮だと、私は反復好きの幼児の姿を見る時、いつもそう思います。

岡潔先生(世界的な数学者・文化勲章受賞者)がお孫さんを観察されて、「赤ちゃんに鈴をリーンと鳴らせて聴かせる。最初は、おやっというような表情であり、二度めは、何か聴いたような音だとでも言いたげの、遠くをじっと見つめるような表情になる。それが三度めになると、もっと聴かせてくれ、もっともっと、という要求に変わる」

と、おっしゃっていますが、幼児の姿、幼児の本性を实によく説明していると思います。

繰り返しがたまらなく好きだという、幼児のこの特性を満足させる努力

をすることが、最良の教育法ですが、とりわけ、言葉の教育ではこの“繰り返し”が大切です。ところが、大人には、たいてい、この“繰り返し”が苦痛であって、幼児の希望をかなえてやれないうらみがあります。

それどころか、最近、「幼児を出来るだけ一人遊びさせておくのがよい」という誤った考えが行われていて、放任したままで、話しかけることをしない母親が多い、という恐しい傾向があります。

そのため、言葉の遅い、知恵遅れの子供が多くなっています。母親が語りかけてやらなければ、幼児は言葉を覚え、言葉を使うようにはなれません。そういう子供は必ず知能の発達が遅れます。